

令和5年度 第9回 昭島市社会教育委員会会議・要点録

開催日時／会 場 令和5年12月18日（月）午後7時00分～8時50分 602会議室
出席者 谷部議長、松本副議長、小原委員、前川委員、指田委員、小池委員、齋藤委員、信國委員、石川委員
欠席者 二ノ宮リム委員
事務局 塩野社会教育課長、渡邊社会教育係長

1 開 会

＜配付資料＞

- 資料1 第54回関東甲信越静社会教育研究大会栃木大会出張報告
- 資料2 あきしま会議に係る調査回答
- 資料3 令和5年度昭島市社会教育関係委員研修会の開催見送りについて
- 資料4 一般社団法人全国社会教育委員連合表彰に対する候補者の推薦基準についての申し合わせ（修正案）
- 追加 若者に向けた情報発信のためのアンケート
 - ・ 教育・青少年だより エール 9号
 - ・ あきしまの社会教育委員ガイド（昭島市）
 - ・ 団体活動向け 昭島市施設ガイド

2 報 告

（1）東京都市町村社会教育委員連絡協議会交流大会について

※ 議長より交流大会の報告及びあきしまの社会教育委員ガイドの説明、委員より報告

（2）令和5年度第54回関東甲信越静社会教育研究大会栃木大会について（資料1）

※ 議長より資料の説明及び報告

（3）あきしま会議についての調査等について（資料2）

※ 事務局より説明

（4）令和5年度昭島市社会教育関係委員研修会の開催見送りについて（資料3）

※ 事務局より説明

（5）その他

団体活動向け 昭島市施設ガイドについて

※ 事務局より説明

3 協 議

(1) 第 32 期活動記録について

議 長 建議等については、過去に遡ると答申や建議を提出していない期もある。第 30 期ではコロナ禍で活動が制限されたこともあり、その記録を残すことも含め活動記録を作成した。今期についても、関東甲信越静社会教育研究大会東京大会において都市社連協の副会長市として関わったこと、翌年には都市社連協の会長市を担い、具体的にどのような会議を開き、どのような作業を皆でしたのかを記録に残すべきと考えた。

関東甲信越の研究大会は令和 14 年ごろには都市社連協が担うことになる。そのためにも、次回の大会の参考とすべく記録を残したい。委員の皆様にも来年の 9 月に向けてまとめ作業に入るのでは是非ともご協力をお願いしたい。「はじめに」の部分については既に案を作成した。

(2) 令和 5 年度自主研修について

事務局 令和 6 年 2 月 9 日の午前中に、おだわら市民交流センター UMECO の視察研修についてご承諾をいただいている。

議 長 午後の予定はどうなっているのか。

事務局 未定である。

委 員 小田原市の社会教育委員との交流機会を設けるのはいかがか。

議 長 以前、ひたちなか市でも社会教育委員との交流を行った。小田原市に可能かどうか、確認を願いたい。

事務局 小田原市に確認する。

(3) 一般社団法人全国社会教育委員連合表彰に対する候補者の推薦基準についての申し合わせについて (資料 4)

※ 事務局より資料の説明 (連続して同一自治体からの推薦があった場合、一定の考慮が必要との意見を反映したもの)

議 長 以前、2 年連続で同一の市より推薦あり、ともに在任期間が長かったため候補者として推薦した。功績などの検討をせず、在任期間のみで同一市から 3 年連続で推薦するようなことは好ましくない。可能な限り、多くの市から選任したほうが良いと考えたので役員会で提案したものである。

それぞれの市町からは、今まで通り在職年数が最長の委員を推薦すれば良い。市によっては在任期間の上限が定められているところもあり、全社連の表彰候補者として推薦されるまでの年数には達しないことも予想される。そういったこともあるため、同一市が在任年数のみで連続して推薦候補者となる場合には、翌年度に推薦するなどの方法を検討してはいかがかと提案した。

委 員 都市社連協からの推薦は 1 名か。

議 長 他県からは 2 名表彰されているところもある。

事務局 表彰基準を見ると、社会教育委員の人数で被表彰者数は規定されているようである。ただし、同等の条件の者がいる場合にはこの限りではないとなっている。

議 長 今年度の被表彰者を見ると、社会教育委員の人数と被表彰者数が合わないのではない
かと思える県がある。都市社連協会長市に確認してみたい。

委 員 在任期間が同等の場合、市としてはどのように推薦者を選任するのか。

事務局 在任期間が同様であれば、年長の委員を推薦するのが順当であると思うが、場合によ
ってはお二人推薦することもあり得る。最終的に推薦者を決定するのは都市社連協であ
る。

また、先ほど任期の上限が定められている市はその市で最長の任期を全うしたとして
も、定めのない市に年数的に及ばないのでそれを考慮すべきとの話があったが、定め
のない市があったとしても、社会教育委員は本人の希望で継続できるものではないことか
ら、永年在職されていることは評価に値すると考えている。また、各市町村で定めのある
在任期間や任期の回数を考慮し活動内容ですとなると判断するのは非常に困難で
はないか。

委 員 例えば、在任期間が 10 年以上の方は被表彰者となるのなら良いが、最長の方のみ 1
名となると、この基準を変えない限り任期の定めがある方は表彰される可能性は低い。

事務局 都市社連協の表彰とは異なり、全社連は基本的には推薦できるのは 1 年間に 1 名であ
る。ほとんどの方が表彰されない状況にある。

委 員 在職年数ごとに表彰すれば良いのだが、年数だけでは難しい。新たに基準を作るのも
難しい。

議 長 年数のみで被推薦者を決定するのは容易いが、たまたま同じ市から 2 年連続で被推薦
者が出たため、1 年差で他市の委員が落選し、翌年在職していないために表彰されない
というようなことがあると良くないのではと考えた。2 年連続同じ市からの推薦はいか
がなものか。

この件の回答はいつまでにするのか。

事務局 12 月 26 日までである。

議 長 回答はどのようにするか、意見をいただきたい。

委 員 2 年連続ではいけないということではないので、選考の際、考慮、討議をしていただ
ければよいので、会長市の提案のとおりで良いのではないか。

<異議なし>

委 員 今までは年数の長い方が推薦されていたが、この一文があることにより、4 に該当し
なくても 2 年以上連続して同一の市町村が候補者となる場合には申し合わせの 4 に該
当していなくても考慮をしていただけることになるので良いのではないか。

議 長 昭島市としては変更なしで回答されたい。

(3) その他（追加配付資料）

委 員 若者に向けた情報発信のためのアンケートについて、あきしま会議に参加し、7 月に
開催したフォローアップミーティングに参加した高校生が中心となり若者に地域の情
報を届けるための取り組みをしている。若者が何をしたいのか、ニーズを知るためにア
ンケートを取りたいとの意見があった。作成したアンケートをどのように若者に届ける
のかが悩ましいが、出来れば、小中学生に答えてもらいたいと考えている。若者専用の

情報 LINE 若者に若者が情報を流す、こんな楽しいことをしていると、イベントがあるとか、そういった情報を届けるための若者専用の昭島市の情報 LINE を作りたいそうである。

アンケートの内容は資料のとおりである。市内のある中学校に相談したところ、配布しても良いとの回答をいただいたが、全ての学校を訪問するのは理解してもらえないかどうかの不安もあり難しい。アンケートの配布について、社会教育委員に相談に乗っていただきたいとのことである。また、小中学校の先生方とこの情報 LINE について話し合う場が欲しいと考えているようである。現役の校長先生からご意見をいただきたいそうである。アンケートを発信するためのチラシは現在作成中である。できれば、それを小中学生一人一人に配布したいと考えているので良いアイデアはないかとの相談である。

アンケートフォームは Google フォームで作成している。どのような情報を発信すれば喜ばれるのかを知りたい。これは、若者のみで考えた内容である。

委員 小学校4年生以上で、紙での配布であれば可能である。小学1、2、3年生からの回答は難しいかと思う。

委員 次のステップで情報の発信をするときは紙以外の方法でないと情報が取れないか。

委員 若者は自分たちには情報が入ってこない、昭島市のことが何もわからないので、それを解決するために、若者にどうすれば情報を伝えられるだろうというところからこのような活動になった。いくつかの学校や子どもたちの集まる場でアンケートが取れればと思う。

委員 スカウト活動の際に配布することは可能か。

委員 可能である。

委員 中学校はどうか。

委員 保護者の了解が必要なので、このままでは配布は不可能である。校長と直接話をするのも違うのではないか。社会教育課から校長会へ依頼をする形であれば可能か。若しくは学校を限定して実施するなどはいかがか。

事務局 社会教育課より依頼すると仮定して、アンケートの回答用紙の配付か、QR コード等を読み込みネットで回答するのとどちらか。

委員 保護者向けに、生徒にアンケートを依頼したい旨のお知らせを作成し、昭島市は紙の使用量を削減する方針でもあることから、QR コードから回答するのかがよいのではないか。強制でなく協力であれば可能である。直接若者が学校に依頼すると強制になってしまうので違うことになってしまう。

事務局 小学校で実施する場合は、紙が良いか。

委員 小学校はタブレットでは集まらないかと思う。また、全部の学校に依頼すると時間がかかるので、一部の学校に絞り実施してはいかがか。

委員 これは、全校で実施したいのか、一部の学校で良いのか。まず、一部の学校からスタートし、そこから広げていっても良いのではないか。アンケートフォームがあればタブレットで読み込み回答ができるのではないか。校長会に依頼をすれば中学校は学校で回答することは可能ではないか。

委員 若者たちも私たちも学校の状況がわからないので貴重なご意見をいただいた。感謝し

ます。持ち帰って若者に伝える。

委 員 若者は自分たちでみんなのために何かをしたいと考えている。

委 員 一番身近な大人は学校の先生なので、先生方からの助言がいただきたくて校長先生と話をしたいという発言になっている。校長先生のアドバイスを伝えたいと思う。

本日はこれにて閉会とする。

次回 1月25日（木）午後7時より 602 会議室+Web 会議

2月22日（月）午後7時より 204 会議室+Web 会議